
大人のための異文童話集 8 見否聞否言否三猿

天野久遠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大人のための異文童話集8 見否聞否言否二猿

【Zコード】

Z0243M

【作者名】

天野久遠

【あらすじ】

ふとしたことで、人は様々な感情と行動に支配されます。さて少年の取った行動は…。

「見ざる・聞かざる・言わざる」とは、昔ながらの…戒め?それとも知恵?これを読まれたあなたは、どちらの選択をするのでしょうか?

私は何もしていなかったのに、どうして私にぶつけられるの。

私はただ、楽しいことを思つて待つていただけなのに……どうして？
キミは涙田でそう言った。

別にキミにぶつかるために蹴った訳ではないんだけど……。

なんだか天気予報も当てにはない。

今日のお天気……気付くといつの間にか雨雲が広がっている。

捨てられ転がっている空缶を見つめる。

捨う気にはなれず、見ていると何故かムシャクシャしていく。
ボクは力一杯にそのムシャクシャを蹴り飛ばす。

蹴られた缶は、高く勢いよく壘り空へと舞つた。

少し気分がよくなつた、でもまだお腹の底が騒いでる。

ボクは舞い上がった空缶の行き先を田で追つた。

飛んで行く空缶。

その軌道の先きにキミがいた。

キミにすれば、どこからともなく降ってきた空缶。

それが頭にポココと当つて、ボクに気付いた。

それを見ていて、また少し……気分の中からムシャクシャが出て行つた。

その空き缶を拾つたキミ。

そしらぬ顔をして立つているボクの方にやつて来る。

そんなことを言つたムシャクシャが帰つて来た。

ボクは口を塞いでコトバを捨てる」とした。

キミがまた何かを言おうとしている。

ボクは耳を塞いで何も聞こえなくなつた。

キミが一步前に踏み出して來た。

ボクは耳を塞いで闇だけを手に入れる」とした。

そんなボクの姿を見て、キミは何をする」とも諦めた。

見ることを期待しないで、話されたことは無視して、言葉に希望は託さない。

見ざる、聞かざる、言わざるな

のね。もう一度、この空缶を蹴るといつわよ。

やつぱりキミは、手にした空缶をボクの足下に置いて歩き始めた。

せつかくキミは、ボクの足下に空缶を置いてくれたのだからナビ…

ボクにはもうその空缶が、どこにあるのが分からなかつた。

それに気付いた時、ボクの姿は見る見るうちに猿になつていた。

どうからともなく声が聞こえた。

お前は自ら大切なものを捨ててしまつたのですね。

そななお前には今のその猿の姿がお似合いでしょう…と。

(後書き)

BGMにはブームタウン・ラッツの“哀愁のマンテー”でも聴いて
欲しいですね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0243m/>

大人のための異文童話集8 見否聞否言否三猿

2011年1月4日02時17分発行